



エイサー発表会開催

11月18日(月)にダンスの授業の一環として、1年生女子によるクラス対抗エイサー発表会を開催しました。エイサーとは沖縄の盆踊りにあたる伝統芸能のひとつで、旧盆の夜に地域内を踊りながら練り歩くもので、本校では7年前から体育の授業に取り入れています。どのクラスも精一杯発表してくれました。



エイサーに取り組んで 第1位 1組 平間奈菜(岩沼中出身)



1組は、エイサーを踊る隊形決めについて意見交換が活発で、様々な意見が出ましたが、大将を中心にうまくまとめ隊形を決めることができました。踊りを合わせていくと改善点が見つかり、手や顔の向き、声の出し方、目線などできるところは徹底して揃えていきました。細かいところまで全員が意識して練習したので全体発表で多くの票をいただけたのだと思います。週に1回のエイサーの授業は、クラスの女子が団結していることが実感でき、とても嬉しく、私にとって充実した時間となりました。1年生も残り4ヶ月ですが、今回のエイサーで培った団結力で、1組らしく楽しく過ごすことができたら良いと思っています。



2組 鹿野流瑠那(岩沼北中出身)

エイサーをとおして2組は、全員で声を出し、動きを揃え、団結力を深めることができたことがとても良かったことです。

3組 菅原夢唯(柳生中出身)

簡単な動きを工夫したり、まどまりのある動きを工夫したりして仲間とリズムに乗って楽しく踊ることができました。

4組 佐藤心美(大河原中出身)

4組はどのクラスよりも練習時間が短い中で本番を迎えましたが、4組らしく個人個人を生かした踊りができて良かったです。



5組 山田麻央(柳生中出身)

大将になりとても不安でしたが、5組の皆さんと楽しく踊ることができました。5組らしいものができたと思っています。

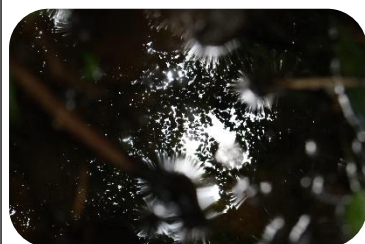
6組 門間汐音(坂元中出身)

私はエイサーに取り組んで、みんなで1つのものを作りあげる事の大変さを知ることができて良かったですと感じています。

7組 大槻遙華(東華中出身)

エイサーを通じて、一人ひとりの個性を再確認し、より一層、クラスが仲間意識を深めるきっかけとなりました。

写真撮影大会最優秀賞を受賞 稲村愛花(1年・みどり台中出身)



夏季写真大会が花山少年自然の家を会場に開催されました。他校の写真部員と一緒に活動で、不安も大きく更に暑さの中での過酷な撮影会で心が折れそうでしたが、仲間と励まし合い、写真家の熊切大輔先生にアドバイスをいただきながら、いくつかの班に分かれての撮影大会になりました。私の作品は、ネイチャー部門で最優秀賞をいただきました。「探検」という題で作品を出品し、露出の補正がうまくいったこと、透明感のある作品になったこと、吸い込まれそうな不思議な作品になったことを評価いただきました。1年生で賞をいただけるとは思っていなかったもので、とても嬉しく、ますます写真への意欲がわいてきました。この経験を生かし次に向けて励みたいと思います。



今回は、十一月一九日（火）本校で、クリスマスコンサート案内を配布していただいた「ぜんりよくボーイズ」を代表して蔵王町出身の遠藤大斗様（田田中出身）と気仙沼市出身の小松笙様（唐桑中出身）をインタビューしました。

ぜんりよくボーイズ 小松 笙 様

Q 今の仕事の楽しさや魅力は？

A フアンの方に喜んでもらえるエンターテイメントを自分たちで考え実行できる環境ができているのでとてもやりがいがあります。



Q 一番の思い出は？

A 仙台Pitでライブをさせていただいた時、一五〇〇人を前にライブしたスケールに感動したのが印象に残っています。

Q 日々心がけている事は？

A 体重維持、顔のケア、食生活に気を使って生活しています。

職業柄常に美意識を持って生活をしています。

Q 北高生の印象は？

A 初めての生徒さんも僕達をととても優しく出迎えてくれてすごく嬉しかったです。先生方も生徒の皆さんもとても素敵な方ばかりで心が暖かくなりました。

Q 北高生にメッセージを！

A 私は今、ぜんりよくボーイズと言うグループ名で活動をしています。活動を通して生徒さんに伝えたいことは自分のしたい事を明確にして、それに向かうための情熱を生み出すことです。今、進もうとしている道が本当に自分の進みたい道なのか、しっかりと自分に問いかけてください。高校生の皆さんは人生の大きな節目に立っていると思います。夢を追うことは生きる糧に繋がります。悔いのないように高校生活を送りましょう。



ぜんりよくボーイズ 遠藤大斗 様

Q 今の仕事の楽しさや魅力は？

A 毎日異なった事にチャレンジし、多くの人と出会うことができ、大勢の人の前で自分の声で思いを伝えられる事です。



Q 一番の思い出は？

A グループ結成から二年と三ヶ月経が経ちました。二〇一九年三月二日に仙台Pitで行なったライブで、一五〇〇〇人のチケットが完売し、満員の中、ぜんりよくボーイズでライブが出来たことが一番の思い出です。

Q 日々心がけている事は？

A 自分が今という瞬間、何を思っているか素直に考える事です。人は、無意識に周りに気を使っている事です。でも、僕は人前に立つ以上、自分の素直な気持ちをしっかりと言葉に乗せて、発信しないと伝わらないと思います。今、自分はどういう気持ちなのか、しっかりと考える時間を作っています。

Q 北高生の印象は？

A 挨拶を元気に出来る子が多いという印象です。また、先生と生徒がとても仲良さそうに話しているのを見て、とてもいい学校なんだなと実感しました。また皆さんにお目にかかりたいです。

Q 北高生にメッセージを！

A 名取北高校の皆さん！今日という日は戻ってこないの、一日を後悔無いように生きて欲しいです。僕も同じようなことを高校生の時にいっぱい言われたけど、全然実感湧かなかったし、後悔なんてないと思っていました。でも今は、今年度で二十三歳になって高校生の時からやっておけばよかったと思うことがたくさんあります。皆さんは自分に正直になって興味あること、周りの視線が気になってできないこと、やりたいけど勇気が出ないことに臆病にならず挑戦して欲しいです。本気で何かに取り組みたい人、笑う人なんていません。

ポップ作品コンクール優秀賞を受賞

高橋沙那花（1年・中田中出身）

今回初めてポップ作品コンクールに応募し、優秀賞をいただけたことを、とても嬉しく思います。コンクールのお話を伺い、どのようなものなのか昨年の受賞作品を見に行きました。その際に、たくさんの素晴らしい作品を拝見し、どのような作品に仕上げていくか悩みました。たくさん悩みながら作品を完成させることにより、このような賞をいただくことができる作品になったことがとても嬉しく、次の目標を見つけることができました。来年度また挑戦していきたいです。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



家庭クラブ東北大会出場

10月16日（水）に岩沼市民会館で開催された宮城県高等学校家庭クラブ研究発表大会に本校生が3名で出場しホームプロジェクトの部で最優秀賞を受賞しました。12月に開催される東北大会に出場し、全国大会出場を目指します。

東北大会での抱負 菅原康生（2年・郡山中出身）



私は12月13日に山形県で開催される、東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会に出場します。題目は「QOL向上大作戦 ～祖母の健康寿命を延ばすために～」です。家庭科の授業で、近年高齢化が進むとともに要介護高齢者の増加と、介護の長期化が問題になっていることを知り、私は祖母に元気に長生きしてもらいたいと考え、調査・研究しました。協力して頂いた先生方、家族への感謝を忘れず宮城県を代表して発表してきます。応援よろしくお願いします。

